

基本構想素案まとまる

8月から基本計画づくりへ

カーミージーの「海浜公園」化と沖食用地への「複合施設・街区公園」配置を核とした浦添市のまちづくり基本構想が、ようやく意見集約され、次年度からはいよいよ基本計画づくりに向けて動きます。平成16年に港川自治会が里浜活動をはじめてから7年。この間、行政の埋立計画を大転換させ、自然の海辺を残すため一部ながら橋梁化も実現しました。

1月から始まったワークショップでも「自然海浜を保全し活用するための海浜公園」という位置づけが参加メンバーの一致した考え方として確認されてきました。活用の事例でも当自治会が取り組んでいる「多様な里浜活動」とそのために必要な諸施設が反映される内容でした。(写真は第4回ワークショップー22日自治会公民館)



沖食用地については「発達障害者(児)支援」「高齢者の就労支援」「教育研究所」活動拠点一等は市独自の政策事業ですが、地域に必要な「街区公園」の配置が盛り込まれ、参加者からはカーミージーに連続する「生涯学習拠点」としての特色作りが提起されています。

基本計画の第1回ワークショップは今年8月頃の予定(次年度)。同事業は防衛省のまちづくり推進事業として企画され、総事業費は数十億円規模が想定されています。それだけに事業採択には高いハードルがあるとされ、地域活動の真価を問われるのもむしろこれからといえます。「新時代のふる里創造」に向けなお一層頑張りましょう。

Minatogawa
みなとがわ

発行/港川自治会 千九〇一―三〇浦添市港川三二六番地

879・6292(総局) / 090・3324・4925(島陽)

港川自治会だより

会員募集

11年3月
第150号

県道も部分工事着工へ 東空寿古墓群の 現況調査始まる



意見の確実な実施を迫りましょう
同日の行政側出席は那覇空港港湾整備事務所、南部国道事務所、中部土木事務所、市都市計画課など。

時間 午後7時30分
場所 自治会公民館

港湾道路及び北道路(国道)の橋梁工事がいよいよ本格化するようです。4月からの工事ではキンザーゲート近くのフェンス後退、工事用道路の整備、その後仮設橋工事開始着手という手順。この間、行政側とは、工事車両による渋滞と生活道路への通過車両対策、めかる商店前への信号機設置、自治会や学校行事での海浜使用の保証などの対応を確認しています。説明会の場であらためて同意内容の再確認を行っていきます。

30日住民説明会

西海岸関連道路

4月から工事着工へ

「海の幸」を食卓に
20(日)午後から30人近くの区民が参加して、今春2回目の海藻採りを楽しみました。シーズンも終わりに近いとあってか、この日は区外からも多くの人が来て、里浜も大にぎわい。アーサだけでなく、テンプラや酢の物でもおいしいと評判のモーイなど、おもしろい自然の恵み手にしながら楽しんでいました。



モーイもチヌマタも
工夫次第でおいしい食材に!

3月のふれあいサロン

28日(月)午後2時
場所 自治会公民館

東北大地震の日、沖縄でも津波警報が出され、港川地域も避難勧告の対象地となりました。その時あなたはどうか対応しましたか?。これを機会に地域の防災課題などもごつづくらんに話し合ってみませんか?

定期総会

4月24日(日)午後7時から
の開催を予定しています。